

令和4年度 自己評価結果公表シート

学校法人 諏訪森学園
認定こども園 諏訪森幼稚園

1. 本園の教育目標

93年間にわたる歳月を、真面目に素直にこつこつと積み重ねてきた本園教育の発展の歴史を礎に、一人ひとりの子どもの個性を大切にし、独自のカリキュラムにより、21世紀を担う子どもたちに限りない夢と希望を抱いて日々の保育実践を行う。

平成27年4月から、幼稚園と保育園の機能を併せ持つ幼保連携型認定こども園として一体的な教育・保育を行う。

【教育理念】

きらきら・わくわく 笑顔いっぱい 楽しい幼稚園

一人ひとりの子どもを大切にしたい温かい環境の中で、友だちとのふれあい活動をたっぷり取り入れた、教育・保育実践により、笑顔いっぱいの明るく元気な子どもを育てる。

【教育目標】

(全体)

- ・幼児期にふさわしい生活習慣を育てる
- ・恵まれた環境の中で、豊かな感性を育てる
- ・友だちとの生活を通して、優しさと思いやりの心を育てる
- ・地域・学校園との連携を図り、心身ともに健康な子を育てる

(0～2歳)

- ・さまざまな遊びや経験を通して、豊かな感性を育む。

(3～5歳)

- ・友だちとの共同生活によって社会性・克己心・自己表現力などの習慣をつけ、就学前の基礎となる力を培う。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

【重点目標】

- ・Withコロナと言われる現状における認定こども園行事の保護者参加を模索する。
- ・豊かな体験活動(作物の収穫等)を通して食への関心を高め、心と体を育てる教育・保育を行う。
- ・運動遊びや友だちとのコミュニケーション(を運動会や体操集会等)を通して、しなやかな心と体を養う。
- ・絵画や造形(作品展等)に取り組み、創造力を伸ばす教育活動を行う。
- ・歌や合奏・劇遊び(発表会等)などを通して、発達段階に応じた表現力を養う。

3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目	取組み状況	
教育方針・目標	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園内における虐待、置き去り等のない子どもたちの安全・安心を中心に、保護者のニーズ応える幼児教育を目指すために、研究保育等、全教職員で子どもたちが主役になる保育・教育活動を創造し取り組んでいる。 ・子どもたちの非認知的な力を育むため、0歳～2歳児は様々な遊びや経験を通して、豊かな感性を育み、それをもとに3歳～5歳児になると、友だちとの共同生活によって社会性・克己心・自己表現力などの習慣をつけ、就学前の基礎となるような力を培い、小中学校における学力の3要素に結び付けている。 ・体操・英語の専科指導、絵画・音楽の職員研修により幅広い教育活動を行っている。 ・保護者に対しては、入園説明会等を行い、方針・目標を伝え、園便りや毎日更新のブログ、懇談会、行事、理解を促した。 ・小学校入学後に子どもが速やかに学校生活になじむことを目的として、文部科学省から出されている、小1問題解消のに向けた共通教育プログラムを共通理解している。
教育課程の編成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教育方針・目標に基づき、各年齢の応じたカリキュラムを編成し、週案を立て、共通理解し、見通しを持って日々の保育に取り組んでいる。 ・0歳児では3つの視点、1歳～5歳児では5つの領域のねらいや内容に留意し、具体的には幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿、生涯にわたる人格の形成をめざし、豊かな体験活動や、体育、音楽、絵画、英語など幅広い活動を体験できるよう様々な活動を多く取り入れている。
教育内容の保護者への周知	A	<ul style="list-style-type: none"> ・入園希望の保護者には、見学の機会を設け、本園の教育内容をお知らせし、入園説明会において、入園手続きを行っている。 ・ブログの更新、園だよりで、各月の取り組みについて、学年のねらいやカリキュラム、行事等を知らせることにより、子どもたちの園での様子を伝え、園での子どもたちの活動の様子や、明日の持ち物について、確認していただいている。 ・4月の家庭訪問、7・12月の個人懇談会等の機会を通じて、子どもたちの園での様子や活動内容を伝え、保護者に理解を促し、ともに保育活動を行っている。

<p>教育環境の構成</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの不安や不快感を取り除くため、お誕生会やクリスマス会、お餅つき等の楽しい行事を中心に、ゆとりをもった保育活動を行っている。 ・行事を実施するために、遊戯室、各教室、廊下、トイレの清掃消毒の徹底を図っている。また、引き続きタオルの使用を止め、各部屋にペーパータオルホルダー、手指消毒のためのディスペンサーを設置している。 ・作品展に向けての取り組みの中で、縦割り活動で学年を超えてかかわることができる環境を整え、人とかかわる力が育つような配慮をしている。
<p>教職員同士の協力・連携</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の行事の確認と課題の共通理するために、朝礼、終礼を行い、指導上配慮を要する子どもや長期欠席の子どもたちについて、情報を共通理解し、職員全体で配慮をして指導にあたっている。(キンダーカウンセラー・特別支援職員の配置) ・見通しをもって保育するために、カリキュラムの進捗状況を把握し、達成するために、毎週火曜日に、2週後の週案を確認している。 ・行事においては、係を中心に準備・進行・後片付けなどで、教職員が協力し助け合って同僚性を高め合っていくようにしている。
<p>研修・研究の充実</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保推進課と連携し、本年度は10名が保育教諭がキャリアアップ研修を受け。他にも、管外研修にも職員を派遣し、保育の質を高めている。 ・公開保育として、堺市教育委員会能力開発課の指導主事3名に参加、ご指導を頂き、0～2歳、年少、年中、年長と年4回の研究保育を行い、本園の子どもにつけようとする力を教職員で共通理解し資質向上に努めている。 ・本園の絵画・音楽の専科講師による長期休業中の実技、毎月の指導研修を行い、保育教諭のスキルアップを図っている。 ・毎月1回、新採用の保育教諭には、新任研修を位置付けて、丁寧な研修を実施している。
<p>健康・安全・衛生管理への配慮</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの心身の調和のとれた発達の基礎を培うために、秋の登山などを冬の駆け足、なわとび運動を年間計画に位置づけ、それに基づいて取り組みを行っている。 ・行事を実施するために、遊戯室、各教室、廊下、トイレの清掃消毒の徹底を図っている。また、引き続きタオルの使用を止め、各部屋にペーパータオルホルダー、手指消毒のためのディスペンサーを設置している。 ・常勤の看護師を配置することにより、園児の体調の変化・怪我については、担任のみで判断することなく、園長に報告し、看護師と相談しながら的確な判断のもとに、家庭と十分に連絡をとりながら、適切な対応に努め

		<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防対策として、マスク・手指消毒・手洗い・うがいの励行に加えて、感染症の流行があれば適宜判断し、保護者に周知するよう、プリント等を配布している。 ・食物アレルギーについては、年度当初に保護者との連携を密にし、個々の子どもの実態に応じて、給食・おやつ等細心の注意をして対応している。 ・バス登園における事故の無いように、『通園バスにおける死亡事件への対応』を作成し、バス関係者と職員の共通理解を図った。
安全管理体制の整備	A	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月15日を安全点検の日とし、安全点検を行い、職員の安全管理意識を育て、環境の安全管理の徹底を図るとともに、速やかな改善に努めている。 ・毎月避難訓練を行い、非常災害時における職員の安全体制を確認するとともに、幼児の安全管理に対する意識を醸成している。特に津波に関する避難訓練は園児職員全員で浜寺東小学校への避難訓練を行っている。 ・職員室で、監視カメラによって、外来者を的確に把握し、門の開閉を電気錠で開閉を行っている。
情報の発信と受信	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウィルス感染者の連絡があった場合、看護師が対応し、保育運営かとの連携により、2回の学級閉鎖で、くい止めてきた。コロナウィルス感染に関するこども園としての新しい情報をメールで流し、最新の状況を保護者と共通理解している。 ・投薬等についても『おたより帳』を活用し、個々の子どもの様子は、保護者と直接話したり、電話したりして、情報交換を行っている。 ・行事ごとにアンケートを実施し、保護者等の声を聞き入れ、改善できるように取り組んでいる。 ・ブログを活用して、0～2歳児、3～5歳児の情報を発信を積極的に行っている。
地域への開放と支援	A	<ul style="list-style-type: none"> ・『園庭開放』『一時預かり』を行い、保護者からの相談窓口として、地域の子育て支援センターとしての役割の一旦を担っている。 ・本年度も、園の行事、夏祭り・ふれあい遊び(中止)には、地域の方は参加していただけなかったが、全ての行事にご理解を頂いている。 ・運動会の練習場所の借用、開催場所借用の関係で3自治連合会をはじめ、地域の施設・団体との交流を図っている。 ・近隣道路への車の駐車については、迷惑にならないように保護者に再度連絡を行っている。駐車場に掲示物を貼り、バスの乗降や保護者の迷惑行為についても気を付けている。

〔評価は3段階評価〕

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

昨年同様、新型コロナウイルス感染により、園としての活動は制限されたが、様々な評価項目で、取組に対して、成果があったと考えている。

特に、新型コロナウイルス感染拡大に関しては行事においては、マスクの着用の徹底、密にならないよう工夫し、就学前の基礎となるような力を培うことができるように計画し、子どもたちが楽しく本来の力が十分発揮できるように実施できた。保護者からも賞賛の言葉をいただいた。

幼保連携型認定こども園 諏訪森幼稚園として、保護者が安心して子どもを預けることができるように、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を見据えて、0歳から小学校就学前までの一貫した教育及び保育を一体的に連続して行うことを目標として、今後も今まで以上にカリキュラム・マネジメントに努めなければならない。

また、常に子ども中心の取り組みを行い、将来に向けてより望ましい人間関係・人格形成が行われるように、今まで以上に一人ひとりの人権を尊重し、最善の利益が守られるよう特に安心・安全に配慮しなければならない。そのために、乳幼児期の特性及び保護者や地域の実態を踏まえ、環境を通して教育及び保育を行うことを基本としたい。

職員の勤務時間の短縮、有給休暇の取得はある程度実現した。しかし、まだ一部ではあるが、行事の前には勤務時間が超過することがあるので、今後も勤務時間の厳守をめざして、行事のスリム化、協力体制を充実させて時間短縮を進めたい。ただ、その場合も職員の達成感も大事にしたい。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
幼保連携型認定こども園としての教育・保育の推進	公開保育、堺市主催のキャリアアップ研修、研究保育により、0～5歳の繋がりを共通理解することができてきた。今後も主体的な学びを実現するために、「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説」の基づき、幼保連携型認定こども園の教育及び保育における資質・能力を育みたい。
教職員の資質向上	園内における実技研修、キンダーカウンセリング研修、堺市主催のキャリアアップ研修、研究保育、月1回の音楽・絵画研修を通して互いに高め合い、資質向上を図ってきた。今後は、外部関係団体の協力を得て、園内研修を推進するとともに、園外研修に積極的に参加し、それを伝達

	し、指導技術のスキルアップに努める。
姉妹園とのかかわり・交流活動の充実	<p>本園と姉妹園（美木多・鳳幼稚園）の環境には違いはあるが、位置づけの違いをしっかりと踏まえて、それぞれの特徴を生かして子ども・保護者のニーズに応える保育活動をする必要がある。</p> <p>姉妹園の子どもたちとのかかわり・交流のあり方・内容等を検討し、計画的に交流活動に取り組む。</p>
園に対する保護者の満足度の把握と連携の強化	<p>3大行事については、アンケートを実施し、保護者の声やニーズの把握に努めるとともに、お世話係さんとして、保護者代表による懇談会を行い、様々な意見を聞き、園の考え方を示し、改善すべきものは改善するように取り組む。</p>
子育て支援の充実	<p>一時預かりは3学期に実施したが、今後はそれを充実し、子育て支援の輪を広げていきたい。</p> <p>2学期から園庭開放、遊びの広場の開設したが、来年度は1学期から実施し、地域に開かれた園として取り組んでいく。</p>

6. 学校関係者の評価

堺市立浜寺東小学校

令和4年度、諏訪森幼稚園より12名の子どもたちが、浜寺東小学校に入学されました。

諏訪森幼稚園卒園児が5名と7名に分かれて2クラスに在籍でしたが、どの子ども物おじせず、早くから小学校生活に馴染んでくれました。活発な子ども多く、楽しんで学習に取り組む様子が見られました。

今年度の卒園児たちは大変レベルが高く、入学当初から他の学年の先生からも評価されることが多くありました。学習規律をしっかりと守り、担任の指示も理解し行動できる子どもたちです。授業の参観に教室訪問をした際にも、大きな声で発表してくれたり、歌を歌ってくれたり、とても人懐こく、情緒も豊かなかわいい子どもたちです。

3学期に入ってから、来年度の1年生に向けて、発表に取り組んでいます。2年生になるという自覚も持ち始めています。素敵な2年生になってくれることと思います。

3学期後半はまとめの時期です。算数などで苦手な部分を持っている子もいますが、復習しながら、進めていきたいと思えます。

来年度の新1年生も、諏訪森幼稚園で身に着けた力が十分に発揮してもらうことができるよう、体制を整えたいと考えております。

堺市立浜寺小学校

諏訪森幼稚園卒園の1年生は、明るき活発で、学校生活にも積極的に進んで取り組める子ども多く、友だちとうまくコミュニケーションをとりながら活動できる。

授業では積極的に発言や質問をする児童が多い。生活科の学習活動でも、生き生きと発表する児童の姿が多くみられた。

保護者の方は、学校と連携を取りながら児童の成長を共に考えてくださっている。このこと

は、幼稚園と保護者が密に連携しながら、きめ細かく保護者の方に対応していただいた成果と考える。

入学に際しては、一人ひとりの支援や配慮の仕方をするにあたっての的確な引継ぎをしていただき、そのことも、小学校での成長につながっていると考える。

浜寺石津小学校

貴校の「教育目標」に基づいた、こどもの育成に滞りなく推進していることは評価できる。

たくましい体・強くて優しい心を育む、「身体づくり」、心と体を育てる「豊かな体験活動」歌や合奏・英語指導などの「表現力」、絵画や造形に取り組んでいる「創作活動」など一人ひとりの子どもを大切にされた育成方法を行い、子どもたちに成長に寄与している。

貴園の育成の結果、貴園の卒園生は本校入学後において、挨拶がしっかりでき、自分の考えや思いを担任等の教員に伝えることができている。また、日常の学校生活においても、学級の児童と協力して活動する場面がよく見られる。率先して係活動を行い、学級のリーダー的な児童も多い。

保護者に関しても、学校の教育活動に関心が高く、積極的に PTA 活動や学校行事に参加していただく方が多い。学校に対しても協力的である。

以上、諏訪森幼稚園の評価は申し分なく高い評価ができる。

追記として、「新型コロナウイルス感染症」感染拡大防止のために最大限の気配りと対策を実施されている貴園教職員や関係者に深謝いたします。

浜寺東小学校

今年度は一クラス 31 人の在籍で、卒園児のどの子もたくさんの友だちと仲良く、楽しく学習に取り組んでいる様子が見られます。特に生活科や音楽科などの教科では、感性を豊かに表現し、幼少期に、多くの体験や学習をしていたことが感じられます。

しっかりとあいさつ・返事ができ、自分の思いを伝えることができています。

もうすぐ 2 学期が終わりますが、3 学期の 1 年生のまとめの時期に向けてよい成長を期待しています。

2 年生になればクラス替えも行われますが、どの子とも仲良く素直に接することのできる子ばかりなので安心していきます。お家の方とも連携しながら、諏訪森幼稚園を卒園された子どもさんの小学校生活を充実したものにしていきたいと考えます。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。